

分析機器部門講習会シリーズ

『Liquid Biopsy の重要性とその可能性』

バイオ・ラッドが提供する Liquid Biopsy 解析ツールとそのアプリケーションについて

* 本講習会では、分析機器部門に導入済みおよび未導入の機器・アプリについて紹介します

Liquid Biopsy サンプルは、現在 分子標的薬の治療効果モニタリングなどに於いて臨床応用分野での応用が進みつつありますが、「分子的な作用機序に基づいた創薬や治療法開発」の流れの中で、低分子化合物やペプチドを含む中分子医薬、抗体医薬に加え、昨今では更に核酸医薬、遺伝子・細胞治療、再生医療、免疫細胞医薬、マイクロバイオーム医療など、これまでとは異なる観点から、創薬・治療法開発の現場での多種多様な新規モダリティ開発においても注目を浴び、その利活用が始まっています。

今回のセミナーでは、**Liquid Biopsy** を取り巻く環境やその**重要性・可能性**について概説しつつ、弊社 **Liquid Biopsy** 解析ツールおよび**試薬**について、様々な**アプリケーション、ブレイクスルー**やその可能性について、興味深い**実際の論文**を交えつつ、**具体的にご紹介**させていただきます。



ZE5 Cell Analyzer



Bio-Plex Multiplex Immunoassay System



QX200 ddPCR (導入済)

日 時 : 2021年5月11日 (火) 13:30~14:30

受講対象 : Liquid Biopsyに興味がある学生・研究者の方、Liquid Biopsyを用いた研究を予定されている方、これからデジタルPCR (ddPCR) 実験を始めたいあるいは取り入れたい学生・研究者の方

講習内容 : Liquid Biopsy関連トレンドと解析ツール・アプリに関する座学セミナー

演 者 : バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
アプリケーション担当 : 廣中 克典、寺田 智子

場 所 : Webセミナー(Microsoft Teams)

申込期間 : 2021年5月7日 (金) まで

申込方法 : 電子メールで、subjectをBiopsyとし、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

申込時にいただいた個人情報は、「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。詳しくは、本学の個人情報保護に関するホームページをご参照ください。<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/objectives/protection/index.html>

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 伊藤 (内線: 2403、Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)※Web でも講習会情報を掲載しています (<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)